



神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク 会報第16号

KANAGAWA Rescue Support Bike Network News

2003年4月1日号, No.16

第16号の目次

- 1、2002年度総会報告(2003.2.9)
 - 2、DIG(災害図上訓練)報告(2003.1.11)
 - 3、韓国のバイク
- 編集後記

2002年度年次総会報告

太田 隆行

2002年度 2003年度代表の井上氏



平成15年2月9日神奈川RBの2002年度総会がかながわ県民活動サポートセンターで行われました。当日は20名余りの会員が集まり、また東京、千葉、埼玉のRBからも来賓の方々の臨席を頂き2002年度の活動の総括を行いました。

総会は池田氏の司会により、2002年度代表の井上氏の挨拶で始まり、井上代表からは「かながわRBが充足して、4年が経過、幸い大きな災害も無く活動は訓練中心でありましたがこの継続自体が財産。今年度も会員の積極的な参加を望む。」とのお話がありました。続いて活動報告、を手塚事務局長より、会計報告を太田より行いました。

続いて規約改正という大きな議題がありましたが現状の活動を鑑み合わせていくという趣旨に異論も無く承認されました。

役員についても2002年度体制継続ということで承認が得られました。

代表 井上哲也

副代表 神林邦彦 太田隆行 矢代幸雄 山本泰彦

事務局長 手塚則生

会計監査 山田泰 梶エミ子

その他人事関係として地区リーダー、分科会リーダーの紹介を行いました。

・地区リーダー

北部地区リーダー 渡辺和也

東部地区リーダー 村井浩久

南部地区リーダー 辻谷圭

西部地区リーダー 永山充

・分科会リーダー

震災時活動研究分科会リーダー 山田泰

バイク分科会リーダー 渡辺和也

救急救命分科会リーダー 河内善徳

情報通信分科会リーダー 坂本篤哉

2003年活動計画、予算についての事務局からの提案についても承認

認を得られました。

事務局よりの提案議事終了後の会員提案事項で事務局長の負担軽減のため副事務局長を設けたらどうかという意見が出され、役員人事と切り離し運営ミーティングでの審議事項ということとなりました。

議事終了後2003年度代表の井上氏の挨拶があり、続いて来賓の方々にお言葉を頂戴しました。

東京RB中村通信班長より東京RB無線クラブとの合同訓練のご提案を頂きました。

埼玉RB谷内副代表からは昨年行った航空自衛隊会場における訓練概要の紹介、また都心から埼玉にかけてのナイトウォーク(夜間徒歩訓練)とその意義・「被災者の気持ちの理解」についての話を頂きました。

千葉RB岡田事務局長からは2003年度の七都県市防災訓練におけるRB同士の交換訓練についての提案、また全国RB連絡協議会の発足と参加への呼びかけがありました。

東京、千葉、埼玉のRBの方々よりの話にはRB同士の連帯という熱いメッセージが感じられました。

来賓の方々の祝辞を頂戴し2002年度RB総会は無事終了の運びとなりました。



終了後横浜で行われた懇親会には総会に間に合わなかった会員をはじめ、千葉RB丸山代表らの参加もあり大いに盛り上がりしました。

DIG・災害想定訓練報告

震災時活動研究分科会

1月11日(土)午後2時~4時 かながわ県民活動サポートセンター402号室において防災ギャザリング2003from かながわへの参加企画として 神奈川 レスキューサポート・バイクネットワークの主催で防災ギャザリング2003from かながわ実行委員会及び神奈川県災害救援ボランティア支援センターサポートチームの協力を仰ぎ実施しました。この訓練のきっかけは震災活動研究分科会山田リーダーが参加した昨年12月7-8日に行われた沼津RB伊豆稲取合同キャンプで地元自主防災組織とRB合同のDIG研修があり「小村先生」にお会いしたことにはじまります。小村先生は**富士常葉大学環境防災学部講師**で、今回の訓練についても無償でお引き受けいただきました。

山田リーダーの小村先生と神奈川RBつながりを創りたいという強い意志からこの企画が実施の運びとなりました。ちょうど防災ギャザリングが1月に行われるとのことでギャザリングへの神奈川RB参加の形を取っての企画となりました。

災害図上訓練「DIG」とは、参加者が地図を囲みながらゲーム感覚で災害時の対応を考える災害図上訓練です。大きな地図に書き込みをしながら、参加者全員で防災マップを作成してゆきます。地図上から改めて分かる危険箇所を確かめながら、防災について考えてみる。という想定訓練です。

*あなたはご自分と家族の被害を最小にする為、行動していますか？
*あなたは被災地救援支援活動時どんな危険を想定していますか？
といった意識の保持が基本と成ります。いつでもどこでも出来る新たな防災訓練の一つといえます。

Disaster(災害)、Imagination(想像)、Game(ゲーム)の頭文字を取って名付けられました。

「災害に遭わない、被害を最小にする」ことを目的にされた内容で都市防災にとって大切な意識との印象を受けました。

以下は神奈川RB会員の池田によるレポートです。

1月11日災害図上訓練「DIG」のフォトレポート

日時: 2003.1.11(土) 14:00~16:00

場所: かながわ県民センター 402号室

講師: 富士常葉大学 環境防災学部 小村隆史先生

神奈川RBからの参加者: 山田・井上・池田・板倉・河内

「DIG」=Disaster(災害)・Imagination(想像力)・Game

小村先生の講義風景1



DIGの意義について力強い講義が行われた。ただ、大学の先生といっても、非常に気さくで学者肌では無く、取っ付き易い先生です。

- 用意するもの--
- ・家がわかる程度の畳2畳分くらいの地図、地図の上に広げるビニール
- ・多色マジック類、後でマジックで書いた線を消すベンジン
- やりかた--



地図の上に広げたビニールに災害時役に立ちそうな社会インフラ(道路、自衛隊、避難場所、警察、消防、防災備蓄等)に色をつける。次に、防災弱者と強者のいる場所や、延焼

危険地区、大型車の入れない場所、S56年以前に建てられた非耐震

家屋等を更に色分けして地図上のビニールに書き込む。

その地域の人や、設備や、地理の情報を多く持っていることが大きなキーになります。自治体や地域ポラネットでこれをやると、大きな効果があると思います。



細切れにコピーしたものをセロテープで張り合わせる(共同作業)。短時間ではあるが、共同作業することにより、見知らぬ人との連帯感が生まれる。5-6人に分かれてのグ

ループ作業。災害を想定した真剣な作業が続く。

参加いただきました方々は中野区役所 防災課、相模原災害ボランティアネットワーク、海老名災害ボランティアネットワーク、神



奈川災害ボランティアネットワーク、埼玉県セーフティーリーダー、都市防災研究会、毎日新聞横浜支社の方々と、神奈川RBのメンバーで計18名でした。なお、小村先生のアシスタントとしてお二人の学生の方々が同行されプログラムをサポートして頂きました。今回は、大変急な実施決定で県防災局杉原様、サポートセンター支援チーム、ギャザリング事務局の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。

尚、この訓練の様子は当日夜のTV神奈川のニュースにギャザリングの一貫で報じられていたとのことです。

主催の山田リーダー(JR1HDE)



.....会員から.....

ということで今回から会員からの寄稿を掲載します。最初は編集担当の私が趣味(というか仕事と言うか)の韓国について書いてみました。今後は皆様からの投稿を期待しています。

韓国のバイク

太田隆行

私は縁あって韓国をたびたび訪れます。もともとは流通視察や食品原料の調達が目でしたがいつの間やら韓国料理と歴史が好きになり、何泊かで行っても殆ど食べているか、名刹、古刹めぐりの旅となっています。今回は神奈川RBの会報ということなので韓国で見かけたバイクを紹介しましょう。

韓国のモータリゼーションは日本以上に発達しているようです。車の種類も多種多様、高級車、SUVとこれが日本にあれば良いのになあ、という車も多数あります。

ところがバイクについては殆どが小排気量車ばかりです。最近でこそ250ccバイクが出てきましたが高速道路が走れないことも有って主力

はすべて4ストの125ccです。



私の大好きなチョッパル(豚足)

とはいえ、125ccのエンジンに車体はあらゆるものがあります。ビジネスあり、オンロード

スポーツあり、アメリカンあり、オフロードありで中々使いやすそうです。また、ビジネスバイクは殆どがスチールのパイプで出来たガードを装着しており講習会などで倒しても全く動じなさそうです。韓国ではアメリカンタイプのバイクの人気があるようで、街中にかなりの台数が走っていました。よく見るとホンダやスズキのバイクに似ています。韓国ではバイクは2つのメーカーの寡占状態です。DAELIM社とHYOSUNG社でDAELIM社はホンダと、HYOSUNG社はスズキと業務提携しているとのこと。まあ、見れば判るのですがDAELIM VT125 MAGMAはMAGNAそのもの。ホンダのV-TWIN MAGNAの車体に125ccのエンジンを搭載したこのバイクは人気があるらしく市場や街中、郊外でも良く見かけました。なんとなく、125ccでは辛そうな気もするのですが交通渋滞などお構いなしに飛ばしているライダー達を見ていると向こうの125ccは日本のそれよりハイパワーなのでは？と疑いたくなります。

DAELIM社 <http://www.dmc.co.kr/>

あとこれは便利だな。と思ったのがカブに補助タンクを載せたバイク。



韓国では、バイクをより実用的に改造するようでこれならガソリン補給の心配なしにどこでも行けます。実用的といえ日本ではすっかり見なくなった三輪バイクも韓国では結構見ます。仕事で使っているバイクは殆どが巨大な背負子のような荷台を装備した(もちろん後付け)のバイクが多いのですが、それでも物足りない人々は三輪車に乗っています。市場などで見るバイクは「過積載」などと言う範疇をはるかに超えています。

バイクをフチ取る巨大なガード類。左に見えているのは積載時の駐車用補助スタンド。通常のスタンドでは用をなさない



これらは昨年12月釜山で撮影したのですが4月にもう一度行く時には昼間撮影をしようと考えて

います。

アングルが悪いのでこれがバイクとは誰も思わない。タイのトゥクトゥクを思わせるがフロントは全くバイクそのものである。



【その他のイベント】

総会準備ミーティング・1/11

運営ミーティング・3/2

ボランティアのための救護法研修会・1/21, 2/18, 3/18

ボランティアのための救護法研修会拡大版・3/21

・・・！！お知らせ！！・・・

神奈川県B携帯電話用サイト開設中

<http://k.excite.co.jp/hp/u/krpkrb/>

(i-mode/J-sky/EZwebの各形式対応)

編集後記

寒い冬もやっと終わりましたね。やっとツーリングシーズンですが花粉症にやられています。

思えば花粉症との付き合いも20年近くになります。最初の頃はくしゃみや鼻水に悩まされましたがいつのまにかこの季節は中年の「ハナタレ小僧」になっているだけ。と達観しています。流れる鼻水さえ気にしなればたいした事の無いものだと思いついたのが数年前。以来、薬やマスクは止めました。

話は替わって、米英のイラク侵攻が始まりました。是非については記しませんが天災地災以外での人の死は悲しいものがあります。私たちは地震など災害救援を目的にしていますが、災害が起こらず、私たちの活動が訓練のみでありますようお願いしております。(〇)

神奈川県B事務局

代表：井上哲也、事務局長：手塚則生

郵送先：〒221 0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

かながわ県民活動サポートセンターレターケース No.81

Fax: 045-312-1862(取次ぎ：レターケース No.81 宛て)

URL: <http://www2.airnet.ne.jp/krb/>

バイクによる災害時救援活動支援ボランティア

神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク会報(年4回発行)

発行者：神奈川県B会報担当 太田隆行

神奈川県B会報発行にあたりまして、お好み焼き「おにがわら」様のご支援を頂いております。みんなでいきましょう！



関西風・広島風 お好み焼き おにがわら

店主：中島信義 山梨県北巨摩郡大泉村 Tel:0551-38-4030

JR小海線甲斐大泉駅北約1.5km・ダイヤモンド八ヶ岳ホテル前

夏季(7・8月) 11:30~14:30、17:30~20:30(火・水定休、祝日は営業) 上記以外の期間 11:30~14:30、17:00~20:00(火・水定休)

「おにがわら」も春を迎えています。中嶋さんの手作りの味を楽しみたくツーリングに行きましょう。